



年頭あいさつ

知名町長 平安正盛



「みんなで創り みんなで育む みんなのまち」 を基本理念に地域の自立促進を図ります

新年明けましておめでとうございませう。

町民の皆様をはじめ全国各地で活躍中の郷土出身の皆様におかれましては、輝かしい新年をご家族お揃いでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素は本町行政全般に對し、温かいご理解とご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

私は、就任以来、「町政は、町民が幸せな生活を演ずる（送る）ための舞台づくりである」との考えのもと、人間（ヒト）・資源（モノ）・財源（カネ）の三つのゲンを大切にしましたまちづくりを推進してまいりました。今後

も第5次知名町総合振興計画に基づき、国・県・関係機関との緊密な連携のもとに、総合的かつ計画的な事業実施に取り組み、「みんなで創り みんなで育む みんなのまち」を基本理念に地域の自立促進を図り、町民一人ひとりがそれぞれの能力や経験を生かしながら「ずっと住み続けたい まちづくり」の実現に向けて様々な施策を展開してまいります。

さて、昨年を振り返りますと、町制施行65周年の記念式典では、多くのご来賓ならびに沖洲会そ

して町民の皆様は御臨席を賜り、盛大に挙行できましたことに對しまして、改めてお礼を申し上げます。

この65年の歴史を礎に、新たな歴史への力強い歩みを進め輝く知名町建設に向かって邁進してまいります。

記憶に残る出来事といたしましては、3月11日に発生しました東日本大震災は、現代社会において経験したことのない未曾有の大災害になりました。また、台風12号による紀伊半島方面の豪雨や大島本島での局地的豪雨災害等、多くの方々が被災し生活基盤を失うなど、その被害は甚大でありました。



本町においても台風2号により、農作物等の被害が発生し、特に葉たばこが壊滅的被害を受けるなど、自然災害に悩まされる日々でありました。防災対策による安心・安全の確保は、地域の喫緊の課題となりました。

また、野田首相は昨年、TPP（環太平洋連携協定）交渉への参加を表明しましたが、実質的に相互の関税自主権の放棄と他のあらゆる貿易障壁の撤廃、サービスの自由化を原則とするTPPは、本町の基幹作物のさとうきびや畜産などの農林水産物に影響が大きく及ぶとしてい



る。ことから、関係機関と連携をとりながら、協議への参加阻止に取り組みたいと思っております。

現在、わが国においては超少子化・高齢化社会の急速な進展に加え、依然として厳しい経済情勢にあり、地方自治体の責務は将来を的確に見通した行政運営が求められています。

本町においては、平成21年度終期の「第三次知名町行政財政改革大綱」で事務事業・組織機構の見直し、給与・定員管理の適

正化などを推進し、町民の多様なニーズに即応しつつ、活力に満ちた魅力ある地域社会づくり

に積極的に取り組んできたところでありますが、一部において実現できなかった事項もあり、「集中改革プラン」の達成状況

を検証しながら、新たな観点からの見直しにも取り組みたいと思っております。